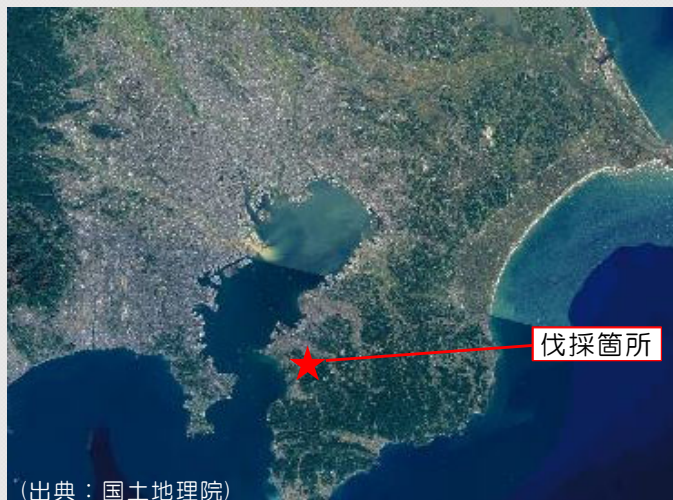


## 事例 2 都市近郊での花粉発生源対策の推進

(関東森林管理局 千葉森林管理事務所)



(出典：国土地理院)

- ・ 千葉県富津市 鬼汨山国有林
- ・ (左) 伐採跡地への花粉の少ない苗木の植栽(令和6(2024)年11月)
- ・ (右) 伐採・植栽箇所位置図

林野庁では、多くの国民を悩ませている花粉症の解決に向けて、花粉症に関する関係閣僚会議で策定された「花粉症対策の全体像」に基づき、民有林と連携して、スギ人工林の伐採・植替えを集中的に実施する区域を設定し、花粉発生源対策を進めています。

関東森林管理局千葉森林管理事務所では、同区域に設定した千葉県富津市内の鬼汨山国有林において、令和6(2024)年度にスギ人工林4.91haを伐採し、伐採跡地にはすべて花粉の少ない苗木※を植栽しました。

同局では、苗木生産者と連携して花粉の少ない苗木の生産拡大・導入に努めてきました。令和6(2024)年度には、同局管内で植栽したスギ苗木の内、83%が花粉の少ない苗木となっています。今後もスギ人工林の伐採・植替えを計画的に実行し、花粉発生源対策に取り組んでいきます。